

歴史に学び、今を生き、未来を創る社会見学

—塩竈の街に学ぶ、地域の復旧・復興に向けた思い取り組み—



研修日程：2013年2月23日（土）・24日（日）

研修場所：宮城県仙台市、七ヶ浜町、石巻市、南三陸町、塩竈市

研修主催：シンクタンク藤原事務所

研修同行講師：

藤原直哉（経済アナリスト、シンクタンク藤原事務所 取締役会長）

矢部亨氏（株式会社矢部園茶舗 代表取締役社長）

<1. 研修内容>

このたびは、2013年2月23日（土）・24日（日）開催の『歴史に学び、今を生き、未来を創る社会見学：塩竈の街に学ぶ、地域の復旧・復興に向けた思い取組み』の資料請求をしていただき、誠にありがとうございました。

2011年3月11日14時46分に発生した東日本大震災から2年が経とうとしています。東日本大震災・福島原発事故の被災地・被災者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。皆さまの安全と、1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

この2年皆さまお一人お一人いろいろなことを考え、活動してこられたと思います。そしてこれからの1年、3年、5年、10年をどのように生きていくか、改めてお考えになられているのではないのでしょうか。

この未曾有の大災害、東日本大震災を風化させないためにも、地震が起きた、津波が押し寄せた現場の状況を観ていただき、地元の方々の「生の声」をお聴きいただける機会を継続して設けていきたいと、2011年9月・2012年4月と開催し、今回3回目を迎えます。

「いつか」「そのうち」ではなく、「今から」できることを一人でも多くの方々からお考えいただき、行動していただきたいと思っております。

宮城県塩竈市にて震災後いち早く2011年7月31日にお店を再開された株式会社矢部園茶舗代表取締役社長の矢部亨氏、栃木県から被災地へ支援物資を届け続け、炊き出し支援を続けられた物流の専門家の塚本貴士氏と一緒に、今回も宮城県仙台市（仙台港、宮城野区、若林地区）、七ヶ浜町、石巻市、南三陸町、塩竈市をまわります。

研修1日目は、仙台駅に集合していただき、貸切バスにて仙台港、宮城野区、若林地区、七ヶ浜町、石巻市、南三陸町塩竈市と移動しながら地震・津波災害の実態と救助・復旧までの現実をご覧ください。

移動中のバスの車中では、地元の立場から矢部亨氏より、外から支援活動に入られた塚本貴士氏より当時の状況をお話していただきます。

夕方からは、復興の担い手である矢部亨氏、塩竈市の若手経営者の方々をパネラーとしてお迎えし、藤原直哉がファシリテーターとして、復興フォーラムと題したパネルディスカッションを行います。

矢部氏のお店が位置する塩釜海岸通り商店街は、震災前はアーケード街でしたが、甚大な被害で今はアーケードも撤去され、矢部氏のお店以外は、ほとんど更地になってしまっています。現在、矢部氏を中心メンバーとして、国土交通省も含めて、『21世紀型、塩竈の歴史



を活かし、災害に強い町を市からつくる計画』として地域の再開発計画が進められております。

地震・津波が残した今後への教訓、今後の地元の復興への想い、地権者との交渉や説得、取組みなどの現状についてお話をお聴きします。

2日目は、ご朝食・チェックイン後、「復興の息吹を体感しよう！」と題して塩竈市内の塩竈神社・魚市場などを観光します。「次回は家族・友人を連れてまた来よう！」と思っていただけよう塩竈市を実際に歩いてまわり塩竈の良さを体感していただき、塩竈自慢の味を楽しんでいただきます。

(参考) おいしさと笑顔がつどうみなとまち塩竈 <http://kurashio.jp/shiogama>

塩竈市が目指す10年後の姿は、“長い歴史と風光明媚な景観を誇り、多彩な食文化とウォーターフロントの魅力にあふれ、コンパクトで利便性に富み、いつまでも住みたい、住んでみたい、訪れたいみなとまち”です。

自然との共生、歴史との共生、そして文化・伝統との共生を大切に、塩竈の良さが引き立つ復興を進められている現場を見学していただき、地域の復興に向けて尽力する地元の方々から直接お話をお聴きいただいた上で、ご参加いただいた皆さまが各々の地域に戻り、日々の生活で参考となるさまざまなヒントや勇気を得ていただきたいと思います。一人でも多くの方々からのご参加を心からお待ちしております。

2013年1月吉日

シンクタンク藤原事務所

<2. 研修同行講師>

矢部亨氏 (やべとおる)

株式会社矢部園茶舗 代表取締役社長

社団法人日本青年会議所 東北地区協議会会長 (2008年度)

1968年生まれ。塩竈市立第三小学校卒業、東北学院中・高を経て、東北学院大学経済学部へ進学。大学卒業後はイトーヨーカ堂に就職。

平成7年より株式会社矢部園茶舗社(宮城県塩竈市)代表に就任し、美味しいお茶とその文化を地域に伝えている。お茶に関する資格試験「日本茶専門経営士 茶匠」取得。

2011年3月11日、東京都港区新橋のビル内での研修に参加中に東日本大震災が発生。

翌日12日に飛行機と陸路を経て、13日早朝に地元塩竈市に戻る。

自宅・店舗ともに被害にあいながらも、塩竈市と石巻市、南三陸町、気仙沼を車で毎日往復し、災害支援・復旧・復興に携わる。

2011年7月31日に、矢部園茶舗再開。震災後、株式会社東北クリエイトを設立。

「地元の財産であるはずのものが、他地域の業者に利益をもたらすことはあってはならない。地元の収集業、運送業、そういう方々が地元の雇用を創出しながら、地元の生活基盤であった瓦礫を撤去していく作業をしっかりと推進していくことこそ今やるべきことなのではないかと思っています。」「愛する塩竈だからこそ、復興にかける思いを子供たちに受け継いでいきたい。」※クラシオより引用 <http://kurashio.jp/fukkou/people/yabe>

<3. 研修行程表>

2月23日（土）

時間	行程	詳細&ねらい
12:15	仙台駅 集合・受付	・JR 仙台駅西口タクシー乗り場北側貸切バスロータリー
12:30～ 17:00	セッション1 (貸切バス移動)	▼セッション1：視察見学 ・仙台港、宮城野区、若林地区、七ヶ浜町、石巻市、塩竈市を視察見学。 ・地震・津波災害の実態と救助・復旧までの現実をご覧ください。 ・バス車中では、地元の立場から矢部亨氏より、外から支援活動に入られた塚本貴士氏より当時の様子を聴く。
17:30～ 18:00	チェックイン 休憩	ホテルグランドパレス塩竈
18:30～ 20:00	セッション2 @塩竈市	▼セッション2：復興フォーラム ・地震、津波が残した今後への教訓、今後の地元の復興への想い、取組みなどの現状を塩竈の復興活動の担い手に話を聴く。 ※パネルディスカッション形式（質疑応答含む） ファシリテーター：藤原直哉 パネラー：矢部亨氏、地元若手経営者の方々
20:00～ 21:30	夕食・懇親会 @塩竈市	・講師の矢部亨氏、塚本貴士氏、塩竈市の若手経営者を囲んで、参加者の皆さまとの親睦を深める夕食会

2月24日（日）

時間	行程	詳細・補足
7:00～ 9:00	朝食 チェックアウト	・朝食後、各自チェックアウトを済ませる。
9:30～ 14:00	セッション3 (貸切バス移動)	▼セッション3：復興の息吹を体感しよう！ ・塩竈市内を観光し、塩竈の良さを体感する。 ・塩竈市内にて昼食
14:00～ 15:00	移動・解散 (貸切バス移動)	・塩竈市から仙台市へバスで移動 ・JR 仙台駅西口にて解散

※天候や現地事情により日程が一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

<4. 研修参加費用>

40,000 円 (税込み) /大人、15,000 円 (税込み) /学生

(1) 研修参加費に含まれるもの

・ 宿泊料金	宿泊先：ホテルグランドパレス塩竈 〒985-0021 宮城県塩竈市尾島町 3-5 TEL：022-367-3111 FAX：022-362-2168 http://www.h-grandpalace.com/index.htm
・ 食事料金	研修行程表に記載された夕食 1 回、朝食 1 回、昼食 1 回 お食事場所： 握るて手に心 塩竈すし哲 http://www.shiogama-sushitetsu.com/shiogama/index.html 塩竈が誇るフレンチレストラン シェヌー http://www.cheznous.co.jp/chef.html
・ 講師に関わる費用	研修講師： 藤原直哉 (経済アナリスト、シンクタンク藤原事務所取締役会長) 矢部亨氏 (株式会社矢部園茶舗代表取締役社長)
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡障害 2 千万円)

(2) 研修参加費に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします。
------------	---

<5. 研修要領>

募集人数	15 名 (最小催行人数：10 名) 先着順・定員になり次第締め切ります。 参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛にお送りください。 (FAX、メール、または郵送でお願いいたします。) 最終申込締め切り：開催日 4 日前まで (2 月 19 日火曜日)
研修参加費	2013 年 2 月 19 日 (火) までに、研修参加費の全額を以下の口座へお振込みください： 1) 三菱東京 UFJ 銀行 渋谷支店 (店番 135) 普通預金 2016760 名義：有限会社藤原事務所 ユ) フジワラジムショ または 2) 郵便局 記号 10050 番号 63484591 名義：有限会社藤原事務所 ユ) フジワラジムショ ※お振込み手数料は、お客様にてご負担くださいますようお願い申し上げます。請求書・領収書がご入用の際には、お申し付けください。
取消料	お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。

	出発日の前日より起算して2週間前まで：参加費用の40% 出発日の前々日および前日：参加費用の50% 出発日の当日又は無連絡不参加の場合：参加費用の100%
研修主催 (お問合せ)	シンクタンク藤原事務所 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町 2-13-12 ASUKA ビル 2F TEL：0465-44-4750 FAX：0465-44-4751 E-mail：higuchi@fujiwaraoffice.co.jp 担当：樋口敬子（ひぐちけいこ） ※お申込いただいた方には、当日の緊急連絡先をお伝えいたします。

<6. 研修概要>

・研修名称	『歴史に学び、今を生き、未来を創る社会見学：塩竈の街に学ぶ、地域の復旧・復興に向けた思い取り組み』
・日時	2013年2月23日（土）・24日（日）の2日間
・研修場所	宮城県仙台市、七ヶ浜町、石巻市、南三陸町、塩竈市
・集合解散時間&場所	集合時間：2月23日（土）12：15 解散時間：2月24日（日）15：00（予定） 集合&開催場所：JR 仙台駅西口タクシー乗り場北側貸切バスロータリー
・研修内容	各種見学、体験、講演など
・研修講師	藤原直哉（経済アナリスト、シンクタンク藤原事務所取締役会長） 矢部亨氏（株式会社矢部園茶舗代表取締役社長）

<7. 集合・解散まで/からの交通手段：新幹線利用（ご参考）>

(1) 東京方面から	▼行き 東京 9：56 発→仙台 11：37 着（はやて 21 号新青森行） ▼帰り 仙台 15：26 発→東京 17：08 着（はやて 28 号東京行） or 仙台 15：46 発→東京 17：56 着（やまびこ 146 号東京行）
(2) 大阪方面から	▼行き 新大阪 7：10 発→東京 9：43 着（のぞみ 106 号東京行） 東京 9：56 発→仙台 11：37 着（はやて 21 号新青森行） ▼帰り 仙台 15：26 発→東京 17：08 着（はやて 28 号東京行） or 仙台 15：46 発→東京 17：56 着（やまびこ 146 号東京行） 東京 18：10 発→新大阪 20：43 着（のぞみ 59 号博多行）

<8. 注意事項・持ち物など>

- ・十分に暖かい服装、歩きやすい履物でお越しください。
- ・現地集合、現地解散となりますので、交通費は各自でご負担ください。
- ・1日目集合前に各自でご昼食をお済ませになられてからご参加ください。

<9. 集合&解散時間・集合&解散場所>

2月23日(土) 12:15 集合

JR 仙台駅西口タクシー乗り場北側貸切バスロータリーにお越しください。

2月24日(日) 15:00 解散(予定)

道路交通事情により、解散到着時間が遅れる場合もございますので予めご了承ください。



<10. 貸切バス運行>

株式会社仙塩交通 〒985-0845 宮城県多賀城市町前 2-2-5



